

科目名	教育史	
担当者	江頭 智宏 / EGASHIRA, Tomohiro	
科目情報	心理臨床<教育臨床> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について学ぶ
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西洋の近代教育思想史を学ぶことで、今日の教育に関する基本的な考え方の源流について理解できるようになる。 ・ 古代～近現代の日本の教育史を学ぶことで、日本の教育の形成過程を理解するとともに、今日の教育について歴史的な視点をもって考えることができるようになる。
授業計画	(1) 教育史を学習する意義 (2) 教育慣行の歴史 (1) - 四月入学制 - (3) 教育慣行の歴史 (2) - 制服 - (4) 教育慣行の歴史 (3) - 学校行事 - (5) 西洋の近代教育思想 (1) - ルソー, コンドルセ - (6) 西洋の近代教育思想 (2) - ペスタロッチ, ヘルバルト - (7) 西洋の近代教育思想 (3) - フレーベル, オーエン - (8) 西洋の近代教育思想 (4) - デューイ, モンテッソーリ - (9) 近世以前の教育史 (10) 明治時代の教育 (1) - 近代教育の開始 - (11) 明治時代の教育 (2) - 近代教育制度の確立 - (12) 大正時代の教育と大正新教育運動 (13) 昭和戦前期の教育と戦時下の教育 (14) 戦後の教育 (1) - 戦後教育改革 (15) 戦後の教育 (2) - 1950年代以降の教育 -	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前配布する資料を授業前までに読んでください。 ・ 参考文献を読んでおいてください。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3～4回おきに小レポートを課します。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に使用しません。講義中で配布する資料等を用います。 【参】勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る - 子どもと教師と学校を見つめて』あいり出版 2011年 ISBN9784901903479 ほか	
成績評価方法と基準	<基準>今日の教育に関する基本的な考え方の源流や、日本の教育の形成過程について理解するとともに、今日の教育について歴史的な視点をもって考えることができるようになれば合格とします。 <方法>試験とレポートによります (修了試験 (60点)、レポート (40点))	
備考		